

## 一般財団法人エンジニアリング協会 地下開発利用研究センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-18-19  
(虎ノ門マリビル 10 階)

TEL 03-5405-7203(直通)/FAX03-5405-8201  
ホームページアドレス ; <http://www.ena.or.jp/GEC/>  
E-mail アドレス ; [gec-adm@ena.or.jp](mailto:gec-adm@ena.or.jp)

## 第 322 号 / 2016.7

### Index

- 平成 28 年度 第 1 回 研究企画委員会 開催報告
- 離島における地熱資源の活用可能性調査  
第 1 回委員会 開催報告
- 平成 28 年度 地下利用推進部会の発足
- 平成 29 年度 調査研究活動に関する  
技術課題・テーマ公募
- 会員の皆様へのお知らせ  
□国内見学会のお知らせ(予告)

## ■平成 28 年度 第 1 回 研究企画委員会 開催報告■

平成 28 年度 第 1 回研究企画委員会(委員長:池田謙太郎氏 清水建設(株)、副委員長:高田悦久氏 鹿島建設(株))が 6 月 23 日(木)に開催されました。

上田事務局長の協会挨拶、池田委員長の挨拶、各委員の自己紹介の後、池田委員長の司会により議事が進められました。



第 1 回 研究企画委員会の様子

委員交代により、平成 28 年度より、(株)小松製作所の西澤氏、JX 金属(株)の佐藤氏、新日鐵住金(株)の西海氏、電源開発(株)の鳥羽瀬氏、戸田建設(株)の浅野氏に委員をお願いしました。

議題と議事内容の概要は、以下のとおりで、審議事項についてはいずれも承認されました。

1. 平成27年度事業報告(案)及び決算報告(案)  
(審議)

①平成27年度事業について

- ②平成27年度事業報告書(案)
- ③平成27年度決算報告(案)
2. 平成28年度事業の推進について(報告)
  - (1)平成28年度事業について
    - ①平成28年度事業計画
    - ②平成28年度地下センター年間活動計画
  - (2)平成28年度補助事業活動計画  
離島における地熱資源の活用可能性調査
  - (3)平成28年度地下利用推進部会活動計画
    - ①第1部会 地下歩道ネットワーク整備による快適な社会に関する調査研究
    - ②第2部会 エネルギー施設の強靱化に関する調査研究
    - ③第3部会 地下の立体的利用による都市生活基盤の整備に関する調査研究
    - ④第4部会 交通網施設の強靱化に資する地下空間利用に関する調査研究
  - (4)平成28年度地下情報化部会活動計画
  - (5)平成28年度研究企画ワーキング活動計画
  - (6)平成28年度研究会活動計画
    - ①放射性廃棄物研究会
    - ②小規模地熱発電・熱水活用研究会
    - ③計測技術研究会
    - ④老朽化インフラ対策研究会

- ⑤水素輸送・貯蔵研究会
- ⑥エネルギー関連施設に関する活断層の工学的研究会
- 3. 平成28年度JKA補助事業委託業務公募結果（報告）

- 4. 平成29年度エンジニアリングに関する調査研究＜提案公募＞の予定について（報告）
- 5. 研究成果発表会 2016プログラムの紹介  
 次回の第2回研究企画委員会は9月21日（水）に開催する予定です。

## ■離島における地熱資源の活用可能性調査 第1回委員会 開催報告■

（本事業は、公益財団法人 JKA の競輪の補助金を受けて実施しています。）

「離島における地熱資源の活用可能性調査」については、平成27年度に調査検討を開始し、発電コストの高いディーゼル発電所をもつ離島に対して地熱資源情報・データ等を収集・評価して、地熱発電の導入の可能性が期待できる離島を抽出しました。また、それらの離島における地熱開発について、2つの基本構想案を提案しました。

平成28年度の調査研究につきましては、委託業務の公募や委員会委員の委嘱等と並行して、2つの基本構想案のモデル離島（北海道・奥尻島、鹿児島県・中之島）の現地事前調査等を行って、本年度の活動計画案等を作成し、第1回委員会を6月15日（水）に当協会会議室で開催しました。奥村地下開発利用研究センター所長の協会挨拶、海江田委員長（（-財）電力中央研究所 研究参事）の挨拶、各委員・オブザーバーの自己紹介、モデル離島の現地事前調査報告の後、平成28年度調査研

究実施計画案について審議が行われ、承認されました。

平成28年度の調査研究については、最終年度であり、基本構想案1（離島スマートグリッド構想）では奥尻島を対象に、地熱発電に加え、風力発電、水力発電などの再生可能エネルギーの発電所を設計検討して組合せ、離島スマートグリッド構想を具体化することを目標としています。また基本構想案2（周辺離島への余剰エネルギー供給構想）では中之島を対象に、周辺離島との海底ケーブル接続による電気供給案と周辺離島への水素輸送・水素発電案を設計検討し、本構想の可能性を具体化することを目標としています。既に当センターと外部委託先とも、調査研究を開始しており、緊密に連携して、研究目標の達成に努めます。



（奥尻島観光協会 HP より）



([http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~islands/jissyu\\_toshimajyunkai/index.htm](http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~islands/jissyu_toshimajyunkai/index.htm))

## ■平成 28 年度 地下利用推進部会の発足■

地下センターの主要な活動の柱のひとつである地下利用推進部会は、平成 6 年度に発足し、2 年ごとに更新して活動を実施してきました。

平成 28 年度は、「安全・安心・快適な国土形成に資する地下空間利用の調査」((公財)JKA 補助事業・新規)を全体テーマとし、賛助会員企業に対して以下に示す 4 つの部会への参加公募を実施したところ、全体で計 29 社 42 名の応募がありました。応募者全員を委員として 4 部会を編成し、部

会ごとに部会長・副部会長を委員の互選により選任し、本年 6 月活動を開始しました。また、各部会の部会長・副部会長をメンバーとする地下利用推進部会幹事会を設け、各部会の調整、連絡、検討の深化と取りまとめを行います。本調査研究では、安全・安心だけでなく、快適な国土形成に資する地下空間利用整備を全体のテーマとし、各部会で調査を行い、効果的なインフラ基盤整備の方策に関する提言を行うことを目指します。

| 地下利用推進部会<br>(安全・安心・快適な国土形成に資する<br>地下空間利用の調査) |                              | 幹事会<br>幹事長 : 居相好信氏 (株大林組)<br>副幹事長 : 西村 毅氏 (株安藤・間) |
|----------------------------------------------|------------------------------|---------------------------------------------------|
| 名 称                                          | 調 査 内 容                      | 部 会 長                                             |
| 第 1 部会<br>(7 社 7 名)                          | 地下歩道ネットワーク整備による快適な社会に関する調査研究 | 部 会 長: 西村 毅 氏 (株安藤・間)<br>副部会長: 木村育正氏 (株技研製作所)     |
| 第 2 部会<br>(11 社 12 名)                        | エネルギー施設の強靱化に関する調査研究          | 部 会 長: 中山 洋 氏 (佐藤工業株)<br>副部会長: 大森剛志氏 (東電設計株)      |
| 第 3 部会<br>(13 社 13 名)                        | 地下の立体的利用による都市生活基盤の整備に関する調査研究 | 部 会 長: 平野孝行氏 (西松建設株)<br>副部会長: 加藤猛士氏 (川崎地質株)       |
| 第 4 部会<br>(9 社 10 名)                         | 交通網施設の強靱化に資する地下空間利用に関する調査研究  | 部 会 長: 居相好信氏 (株大林組)<br>副部会長: 山田岳峰氏 (鹿島建設株)        |

## ■平成 29 年度 調査研究活動に関する技術課題・テーマ公募■

地下センターでは、公共的かつ先導的・共通基盤的な課題等について幅広く産・学・官の英知を結集して、プラントや機械システム等の新技術に関する調査研究を行い、今日的な社会的諸問題の解決、将来の望ましい社会システムの構築等に資することを目的としております。

平成29年度予算要望に当たり、研究テーマを募集しておりますのでお知らせいたします。提案されたテーマの審査は、地下センターの研究企画委員会において、提案企業匿名で審査を行います。またテーマの実施方法は、委託先を平成29年4月中旬以降に公募によって決定します。決定された委託先は、当センターと共同して調査研究を実施するものと致します。

調査研究に係る技術課題・テーマの類型は、公共性が高く先導的で単独企業のみでは取り組み得ない

共通基盤的な社会開発システム等に関し、企業の知恵を結集する新しい技術や新しい技術利用展開、システムの調査・研究を行うものです。テーマは技術課題、特性、調査研究手法、調査研究規模等により以下のように分類しています。

### ① A型テーマ

〔補助事業での 1 テーマ事業予算 : 約1,000万円  
／年、期間 : 1～2年〕

新技術・新システムなど、主に概念設計・基本設計や必要に応じて基礎実験等を行うものです。地上・地下の組合せ、あるいは使い分けを含むシステム、コンセプト、エンジニアリングなどの調査研究要素を有するものを対象とします。地上・地下空間に係るエネルギー合理化、新エネルギーの普及、循環型社会の形成、環境対策、都市の再生、産業の活性化、情報化の進展、バイオ技術の進展、新たな産業の創

出発展、雇用の創出などの重要政策に沿うものを狙いとします。

提案テーマ及び内容が具体的で、調査研究の成果が将来、国内外の普及に結びつき、技術的・社会的に貢献できるテーマを特に期待しています。

## ② B型テーマ

〔補助事業での1テーマ事業予算:約500万円/年、期間:1~2年〕

国内・海外の具体的な地域特性に着目した社会開発プロジェクト等に関し、エンジニアリング技術を結集して地域開発等の構想策定や事業性検討、フィージビリティスタディ等の調査を行うものとします。

〈望ましい技術課題・テーマ〉

- ① 共通基盤的な技術に係るもの（特定企業や個別業種の枠を超えた横断的な分野など）
- ② 広く産・学・官及び異業種交流等により検討されるもの（委員会等を設置して多方面の意見を取り入れるなど）
- ③ 調査研究の成果が将来における官民のプロジェクトに結びつく可能性の高いもの

\*\*\*\*\* 締め切り等 \*\*\*\*\*

(1) 提出期限 平成28年8月5日（金）  
（17:00必着）

(2) 提案書本文は、A4版3~4枚程度にまとめて下さい。また、別途、概念図等を添付して下さい。提案書ファイル（MS-Word形式）をE-mailでご提出いただき、提出された提案書の内容について当協会事務局にてヒアリングを実施させていただきます。

(3) 問い合わせ・提出先:

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19

一般財団法人エンジニアリング協会

地下開発利用研究センター技術開発部

研究主幹 上田 正人 宛

E-mail: ueda.m@enaa.or.jp

TEL: 03-5405-7203

\* 詳細につきましては、

地下開発利用研究センターホームページ

<http://www.enaa.or.jp/GEC/index.html>

「※お知らせ」をご参照ください。

## ■会員の皆様へのお知らせ■

### □国内見学会のお知らせ(予告)

地下センターでは、地下利用施設の見学会を毎年実施しております。平成28年度は北海道方面を企画し、見学会の日程が決まりましたので予告ご案内いたします。詳細が決まりましたら会員各社の連絡窓口担当者にご案内いたしますので是非ご参加下さい。

1. 期 日 : 平成28年9月27日(火) ~9月28日(水) (1泊2日)

2. 行 程 :

|            |                                                                        |
|------------|------------------------------------------------------------------------|
| 27日<br>(火) | 11:00 新千歳空港 集合 ⇒ 昼食<br>⇒ ①後志トンネル 見学 ⇒ 宿泊先<br>(定山溪)                     |
| 28日<br>(水) | 宿泊先 ⇒ ②札幌駅南口エネルギーセンター見学 ⇒ 昼食⇒<br>③夕張シューパロダム 見学 ⇒<br>17:00 頃 新千歳空港で順次解散 |

3. 定 員 : 25名

4. 参 加 費 : ¥34,000 円/人 (1泊2日)

●参加費は、大型バス代、高速料金、宿泊代(1泊2食)、昼食代等を含みます。

●集合場所までの交通費及び解散後の交通費は含まれておりません。

5. 問い合わせ先: 地下開発利用研究センター

百田、中村

TEL: 03-5405-7203

E-mail: hiromi@enaa.or.jp